

## 認可保育所の保育料値上げ中止を求める請願

### 【請願趣旨】

2011年までの15年間で、働く人の平均年収は約66万円も減少しました。そのもとで、「保育料が安い認可保育園に子どもを預けて働きたい」という子育て世帯の願いは、いよいよ切実になっています。保育料の値上げは、この願いに真っ向から背をむけるものです。

そもそも保育料は、「能力に応じた負担」を原則にすべきです。しかし町田市の保育料値上げ案は、所得税非課税のひとり親世帯の値上げ率が最大207%とされていることをはじめ、所得の少ない子育て世帯ほど負担が大きくなるものとなっており、この原則に反するものです。

保育料の値上げは、少子化対策にも逆行します。2011年の内閣府の調査（少子化社会に関する国際意識調査）は、日本の若者の8割超は「複数のお金がほしい」と望んでいるけれど、それを阻む最大の原因が「子育てにお金がかかりすぎる」ことにあることを示しています。少子化対策のためには、市の子育て支援の予算を増やし、認可保育所をはじめ、認可外保育所、幼稚園など、保護者の経済的負担を軽減することが急がれています。

以上をふまえて、私たちは、認可保育所の保育料の値上げを中止することを、要求します。

### 【請願項目】

- 一、認可保育所の保育料の値上げを中止してください